

# JOHNNY WEISSMULLER



水泳の啓発 普及を目指して

快挙、男子 200m 平泳ぎ  
渡辺 一平・早稲田大学  
世界新記録 2 分 0 6 秒 67  
2017・1・29 東京都選手権大会

1904-1984

公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア



## ～公益財団法人設立3年を振り返り、次年度への新しい意欲をもって～



業務執行理事  
高木 克己

2014年3月20日、内閣府の公益財団法人の認定を受け同年4月1日「公益財団法人国際水泳殿堂・アジア」の法人登記を完了し、公益財団として公益事業を開始しました。

当財団の公益事業は定款に定められた公益事業12項目であり、1.展示場ABの開設をはじめ、年間のスケジュールは急務でした。主要事業の「シンポジウム」「顕彰・表彰式」と同時開催の会員懇親昼食会も盛況を極めています。講師の選定、顕彰受賞者の選出についても関係各位から高い評価をいただいています。主目的である「水泳の啓発・普及を目指して」に、いささかな貢献ができたかと自負いたしております。

次年度は全国47都道府県からの寄附・賛助会員の獲得を目指します。

財務担当の構成、人員を強化し、大手企業への本格的取り組みを始めます。しかし、このような極めて厳しい条件の中で、目的事業が達成できたのは、当財団の主旨に快くご賛同いただき、ご協力いただきました寄附・賛助会員並びに篤志家の方々のご助力の賜です。

旧財団法人愛知国際水泳殿堂・アジアから公益財団法人国際水泳殿堂・アジアはその組織を大幅に縮小しました。41名の役員が15名になりました。(評議員24名が8名、理事15名が5名、監事は2名)。大変な戦力低下です。しかし、この15名の役員は舍人代表理事のもと結束し、公益財団法人としての使命を果たすべく、全力を傾注しています。同時に、当財団にご協力いただく各位で推薦委員会を組織していただき、寄附・賛助会員獲得、公益事業の推進、サポート等をいただいております事はこの上ない力です。

当財団は1.水泳の大切さ、2.水泳の面白さ、3.水泳の効果を説き、「小さく、ゆっくり」夢に向かっていきます。

今年度ご協力、ご助力いただきました皆様はもとより、是非、ご家族、ご友人、知己の方々へのご情宣をお願い申し上げます。ご協力、ご支援に心から感謝申し上げますと共に、次年度(2017年4月から)も変わらぬご助力を心から重ねてお願い申し上げます。

※当財団は内閣府から税法上の優遇措置「所得控除・税額控除」の優遇を受けています。ご活用下さい。

### 2016 年度会議

下記主要会議のほか 毎月月例役員打ち合わせ会開催 理事出席義務者 評議員出席権利者

|           |                                 |                   |
|-----------|---------------------------------|-------------------|
| 6月19日(日)  | 2016 年度第一回 定例評議員会、理事会           | ：名古屋・大須・ローズコートホテル |
|           | 2016 年度 事業報告 収支決算報告 承認          |                   |
| 11月12日(土) | 評議員・理事・監事・推進委員、拡大実行委員会          | ：名古屋・大須・ローズコートホテル |
|           | 「シンポジウム」「顕彰・表彰」「会員懇親昼食会」 準備確認会議 |                   |
| 2月26日(日)  | 2016 年度第二回 定例評議員会、理事会           | ：名古屋・大須・ローズコートホテル |
|           | 2016 年度 事業報告 収支決算報告 理事改選 承認     |                   |

### 財団の基本情報

名 称：公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア  
設 立 日：1992 年（平成 4 年）8 月 19 日  
移 行 日：2014 年（平成 26 年）4 月 1 日  
代 表 者：代表理事 舍人 経昭  
基 本 財 産：148,000,000 円  
その他財産： 86,000,000 円  
本 部：〒464-0095 名古屋市千種区天満通 1-46

### 役 員

2016.4.1

|         |       |       |       |       |       |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 代 表 理 事 | 舍人 経昭 | 評 議 員 | 川村 俊五 | 評 議 員 | 藤城 弘幸 |
| 業務執行理事  | 高木 克己 | 評 議 員 | 上里 修司 | 評 議 員 | 舍人 久子 |
| 理 事     | 磯部 正  | 評 議 員 | 須賀 豊  | 評 議 員 | 伊藤 裕司 |
| 理 事     | 竹田 幹夫 | 評 議 員 | 田中 孝  | 監 事   | 小久保孝樹 |
| 理 事     | 菅原 宣彦 | 評 議 員 | 伴野 泰申 | 監 事   | 武藤 龍治 |

## ～公益財団法人 国際水泳殿堂・アジアの目指すもの～

早いもので、公益財団法人としての活動を始めてから、3年が経過します。

“石の上にも3年”とか・・・とにかく無我夢中の3年が終わろうとしています。

日本のスポーツ界の競技者人口は、社会現象、少子化により将来大変な問題を抱えてくると考えられます。

各競技団体は選手の登録によりその基盤を確立してきましたが人口の減少は各競技の今後の育成に影響してくると思われます。多くの競技団体はその影響を受けるでしょう。

2020年の東京オリンピック開催は当面の危機を救う大きな好材料となりました。

現在の人間社会は非常に多様化しており、文化、芸術、スポーツの幅が広く単一競技に集中していく次世代の子供達が少ないのです。

近年、各競技団体は啓発、啓蒙のために、著名選手などによる導入指導の道を探っています。

例えば水泳界においても、一時隆盛を極めたスイミングスクールが全国的に減少し、加えて存続するもスポーツクラブも、中にはプールを持たないスポーツクラブ・成人向きへの転換がみられます。

当財団は設立の趣旨“水泳の啓発、普及”を目指します。

現在は水泳に関わっている方々に加え、水泳にまったく興味のなかった人々に対する情宣です。

前述の2020年、東京オリンピックはまさに救世主です。

会報、HP、展示場、タイムトライアル、無料水泳教室、「シンポジウム」などを通じ水泳の魅力、“水泳と健康” 幼児期のベストスポーツを折りをみて紹介してまいります。2014年、2015年、2016年の「シンポジウム」の講師の先生方は当財団の発展に素晴らしい講演内容をもって会員、参加者に大きな夢を与えていただきました。

同時に行います顕彰・受賞者の選考に対しても、関係者から高い評価を受けました。多くの方々のご協力のもと2017年度も目標に向け邁進してまいります。

y,s

### 公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア

### 講演者・顕彰受賞者

敬称略

|        | 基調講演 | 特別講演 | 大賞・水泳特別賞 | コーチ奨励賞 | スイマー奨励賞 |
|--------|------|------|----------|--------|---------|
| 2014年度 | 宮下充正 | 小沢 剛 | 宮下充正     | 藤森善弘   | 今井 月    |
| 2015年度 | 深代千代 | 東島新次 | 石井 宏     | 小池隆治   | 池江瑠花子   |
| 2016年度 | 清原伸彦 | 菊浦祐介 | 武藤芳照・辞退  | 加藤剛志   | 板橋美波    |

## 2016 年度 公益事業報告

- 1 展示場A 継続 展示品 一部入れ替え  
展示場B 継続 展示品 一部入れ替え
- 2 会報の発刊 No.6 : 6月10日 No.7 : 10月10日 No.8 : 2016年3月10日
- 3 無料水泳教室 名古屋市名東プール (月2回)  
知多市水泳教室後援 7月25日(月)～29日(金) 旭南小学校プール  
南知多町水泳教室後援 8月1日(火)～5日(金) 師崎小学校プール  
※公益財団法人水泳指導員の認定・選考委員会
- 4 水泳大会「タイムトライアル」  
第1回 5月29日(日) スポーツクラブケーニーズ・蟹江  
第2回 11月23日(祭) スポーツクラブコパン・緑  
＜種目＞バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、自由形 各50m
- 5、6 は次ページに
- 7 助成事業・A 水泳界発展のための助成 5団体  
助成事業・B 水泳界振興のための助成 水泳大会の助成  
地域振興のための助成 指導力向上のための助成

### 2017 年度「シンポジウム」講師決定

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 基調講演 | 吉岡伸輔先生・東京大学院総合文化研究科准教授    |
| 特別講演 | 井村雅代先生・井村シンクロ：シンクロ日本代表コーチ |

## 2017 年度 寄附・賛助会員のお振込みについてのお願い

※2016年4月から入金いただきました会員各位は4月1日より新年度となります。お振込みをお願い致します。

※2016年度会員各位につきましては、住所等の変更がなければお振込みのみでFAXは不要です。

※寄附・賛助会員は1年間有効です。財団の主要事業が年度の前半に集中します。

財団運営にご理解をいただき、2017年度会費につきましては6月末までにご入金いただきますと幸いです。：事務局

基調講演 清原 伸彦 先生

日本体育大学名誉教授・医学博士

「集団行動は、集団で物事をやるパフォーマンスと考えます。」

例えば、クロスにすることは渋谷のスクランブル交差点がヒートになっています。

「ソチのパラリンピックの開会式を手伝って欲しいか。」行ったら話を聞いて僕の作品を見たら「素晴らしい」やしてほしいと言うことで、ソチのパラリンピックが始まる1月前にモスクワで教えました、大変な事でした。国民性があるのか、自分勝手な行動が多いのです。私も私の集団行動をつくってきて何十年のプライドがあります。もう教えられない。「帰ります。ロシアというのは世界で一番連邦国の多い国。この国の人は頭も良い果敢で勇敢で素晴らしい人種じゃないのか。そのロシアという国にいろんな人種の人が集まって一つになる。そして、ここに世界のトップアスリートが来る。トップアスリートはもう本当に寝ずに自分で自分を制して努力して努力して自分の最高のパフォーマンスをして競うんだ。その中で開会式をやるあなたたちは何をふざけているんだ。これはつり合わない。帰るぞ!。」でも引き受けた以上はできないなんていえないから頑張りました。それからです。やりましたね。やりだしたら終わっても帰らないんですよ。納得いくまでやるんです。わずか10日間ぐらいで立派なものになりました。ちょっと見てください。:映像:

いろんな種目のある中、私のつくったこれが一番最後の作品、ノミネートしていただきました。ロシア人や色々な民族がいます。それが一つになってロシアを支えている。円でこの動きを表現しました。

ここでは果敢さ、勇敢さ、国を大事にして戦う姿勢、こういうものを表現してみました。:映像:

私のチームづくりの秘訣は水球で培ってきました。秘訣というのは、先ずリーダーが持つ資質を考えています。リーダーというのは必ず集団を動かすと言うことを考えないといけない。

厳しく、しかしそれを捨てない。後でフォローする。この生き方考え方を私は今持っています。能力がある人と能力のない人、ない人は一つ一つ上がっていけばよい。そして最終的に一つになればよい。と言うのが私の考えで、集団行動もそのようにやらせています。一番には目標の設定をします。これが難しい。とにかく前に進めるために目的をはっきりさせます。そういうことをするとだいたい不可能なことを可能にするための判断が出てくるのです。何をするか選手たちに目的をはっきりさせます。

環境というのは場所と施設だけではなく、ものの考え方、記憶力そんなものもいろいろ入れながら計画の中でやっていくと言うことが一番だと考えます。



特別講演 菊浦 祐介 氏

共同通信社・運動部記者



リオ五輪を振り返る場面として皆さんご承知のことが多いと思いますが、前回のロンドン五輪は競泳日本が戦後最多11個のメダルを獲得し、大活躍を賞賛されました。

今年4月代表選考の日本選手権がありました。ここで、ご存じかと思いますが水泳は明確な派遣標準記録というものが設定されていて、優勝を狙えるレベルの記録、決勝に残れないことはないだろうという仕組みがありまして、北島選手は突破できず落選してしまいました。大黒柱がなくなってしまったチームでリオに行くということになりました。もう一つ、たくさんの選手が標準記録を突破して、ロンドンは27名、リオでは34名という大所帯になりました。所帯は多いんですけども「核」が

いないというチームで、ぎりぎり突破した代表の中でも、金メダルを狙うのは難しいかなというチームだったと思いました。萩野選手が初日から金メダルを取ったことでかつて、初日に北島が火をつけるという役割は萩野選手が穴を埋めたという、非常に大きな成果じゃないかと思っています。こうして期待される選手が初日に結果を出す。それだけでチームは勢いづいて、俺も俺も次の日も次の日も、という風により環境が出てきて、結局メダルを取らなかったのは8日間のうち1回しかなく、毎日こちらもうれしい忙しさでした。

萩野、金藤選手二人の取り組みやコーチの指導を含めて共通する部分はいくつかありました。先ず、二人に限らないところなんです、[金]を狙える選手・ちょっと方向性を変えて、良い記録をもって期待される選手を特別扱いすると言うことは、チーム強化のため、いつでも自由に好きな所に行って合宿できるというお金の面も優遇してきたこともあって、選手主体の合宿ができるという環境にありました。6月以降、直前高地合宿本番に入る選手が多かったんですが、萩野選手はヨーロッパ、金藤選手はアメリカに行き、瀬戸選手もアメリカ、坂井選手はメキシコと世界中点々バラバラで、リレーメンバーは国内あちこちで合宿するという状況になりました。今回、萩野選手、金藤選手が金メダルをとりましたが、泳ぎも素晴らしかったですし、ライバルとかいろんなアヤがあつての優勝だったと思うんですが、二人に感じた共通点として二つ三つありました。一つは、追従を許さないような圧倒的な力をつけて勝とうとしていたところ。競って何とか勝とうではなく、ずば抜けた勝ち方をしたいということです。もう一つは、立ち居振る舞いなんですけど、逃げずに余裕を持った落ち着いた態度で我々に接しているところがありました。

コーチに関しては、加藤コーチは合宿でも大会でも「来てかまいません」。

平井コーチも多少制限はありつつも、行けば歓迎してくれまして「どうぞ、来てください」というぐらい対応してくれました。

これだけ受け入れてもらえると何か応援したくなるような気持ちもありました。周りも含めて金メダルを取ってくれ、頑張ってくれという雰囲気をつくるのは、コーチ二人がすごく余裕があったかなと振り返る感じています。

萩野選手、金藤選手の他にも予想以上の結果を出した人はいたと思います。バタフライの坂井選手、平泳ぎの渡辺選手は期待外れでしたが、池江璃花子選手はタイムを伸ばして、こちらが予測していたよりも上にいたと言うのがあります。彼らも本番のリオに入ってから振る舞いがすごく良いというか、引き締まっているんだけど余裕があるという頑張りで、受け答えがすごくしっかりしていました。言葉にしづらいけれど、充実した雰囲気というのは接してて見えた部分がありました。

世界に立つにはこうしたら良いという方法論と言うものはないと思うのですが、興味深く見る事ができました。

これから4年後東京で開催されるんですが、今の水泳の代表の流れからすると、更にメダルが増えるのではないかと感じています。



## 6 2016 年度 第3回「顕彰・表彰式」

水泳を始めよう。水泳をすすめよう。

2016年度

『シンポジウム』『顕彰・表彰式』

主催 公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア

特別協賛 近藤産興株式会社 協賛 株式会社コパン 株式会社名古屋トヨペット 株式会社イーマックス 株式会社スウィズ

### 2016 年度 第3回受賞者

スイマー奨励賞・ダイバー

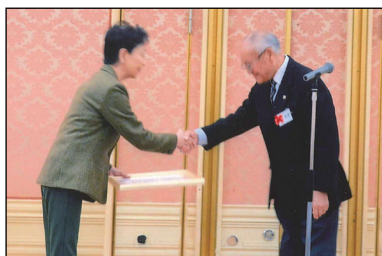
板橋 美波 様 JSS 宝塚

特別コーチ奨励賞

加藤 健志 先生 東海大学

大 賞

武藤 芳照 先生 日本体育大学・東京大学名誉教授 受賞辞退



石井代表選考委員から表彰を受ける  
板橋美波選手代理  
馬渕かの子先生



小沢選考委員から表彰を受ける  
加藤健志先生代理  
金藤理絵さん

### ～栄光を讃えて・特別表彰～



### 2016 リオ・オリンピック 競泳女子 200m平泳ぎ

優勝 金藤 理絵 さん

舍人代表理事から表彰状、武藤監事からトロフィー、近藤特別会員から記念品、神谷財団顧問弁護士から花束が贈呈されました。



### 「シンポジウム」「会員懇親会」



代表理事挨拶



役員打ち合わせ



収蔵品展示



懇親会

### 選考委員会

委員長:菅原宣彦 代 表:石井 宏・オリンピックメダリスト

小沢 剛・共同通信社

宮島年夫・学識経験者

磯部 正、高木克己・国際水泳殿堂入堂者選考委員

新任 福田雅司・学識経験者 元小学校校長・教育委員・教育委員長 歴任 2月10日理事会承認

## 2017 年度 事業計画

2017.4.1 ~ 2018.3.31

### 公益事業

- 1 展示場A 継続 展示品 一部入れ替え  
展示場B 継続 展示品 一部入れ替え
- 2 会報の発刊 No.10:6月 No.11:10月 No.12:2018年3月
- 3 無料水泳教室 名古屋市名東プール 蟹江・ケーニーズ  
知多市水泳教室後援 南知多町水泳教室後援 公益財団法人水泳指導員の認定
- 4 水泳大会「第1回タイムトライアル」5月28日(日) AM9:00~ ケーニーズ  
「第2回タイムトライアル」11月23日(祭) AM9:00~ コパンスポーツクラブ緑  
＜種目＞バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、自由形 各50m ＜参加費＞1種目500円 2種目まで  
小学校1年生からマスターズまで ディプロマ(認定証)・参加賞 100名
- 5 「シンポジウム」開催 2017年11月26日(日) 名古屋・大須・ローズコートホテル
- 6 「顕彰事業・表彰」 6、7についての詳細は 会報No.10-104に掲載 H・P 紹介
- 7 助成事業・A 水泳界発展のための助成 5団体  
助成事業・B 水泳界振興のための助成 水泳大会の助成  
地域振興のための助成 指導力向上のための助成

### 収益事業

- 1 スイミングスクールの運営
- 2 グッズの販売 A) スクワランオイルの販売 B) PISAM グッズの販売

## 2017 年度 収支予算書

2017.4.1 ~ 2018.3.31

| 収入の部 |              | 支出の部 |              |
|------|--------------|------|--------------|
| 賛助会員 | 3,500,000 円  | 公益事業 | 7,600,000 円  |
| 寄附会員 | 7,000,000 円  | 収益事業 | 0 円          |
| 収益事業 | 1,500,000 円  | 法人   | 3,900,000 円  |
| 合 計  | 12,000,000 円 | 合 計  | 11,500,000 円 |
|      |              | 差 額  | 500,000 円    |

※差額は展示物購入引当金(固定資産購入)

## ～ 水泳の啓発 普及 ～ 啓発とは知識を与えていく、普及とは一般の人々に広く行きわたらせる

### 「水泳を始めよう」「水泳をすすめよう」

#### ～水泳の特性～

水泳は人間の成長期に最も効果のあるスポーツである。海、河川に恵まれた日本では水との接触のない生活はあり得ない。近代スポーツ施設(プール)の充実により、より身近に水に接することが容易になった。泳げない幼児は水に落ちれば間違いなく死にいたる。しかし、泳ぎ方を学ぶことにより、水に浮き、進み、速く、遠くまで泳ぐことができる。そしていくつかの泳ぎ方まで習得し、泳ぐ楽しさを知ることとなる。

#### ～水泳の習得～

水泳の習得の時期については諸説あるが、幼稚園、少なくとも小学校2年生ぐらいまでに始めるのが理想である。あまり物事に対する理解ができない、指導者の言葉の理解、周囲の人間関係、家庭環境など様々な要因があるが、個人の能力の問題もあり、判断はまちまちである。

#### ～水泳は小学生で父親に勝てるスポーツである～

小学校2年生で水泳を始めたとして、スイミングスクールで週2回、2年間で100m個人メドレー(バタフライ、背泳ぎ、平泳ぎ、自由形 4種目)まで習得するだろうし、得意種目についてはかなりの距離を泳ぎ切るだろう。この時点で普通の父親は子どもに勝つことができない。

#### ～水泳環境の整備～

公共施設としてのプールが完備され、さらにスポーツクラブ、スイミングスクールが充実している。スポーツクラブ、スイミングクラブの指導者、インストラクターは日々研鑽に励み、それぞれが必要なライセンスを取得している。水泳指導は専門家に委ねるのがより効果的であり、夏季短期水泳教室もよい。

#### ～学習、文化、他のスポーツとの兼ね合い～

現代ちびっ子は多忙である。それだけに、小学校4年ぐらいを目途に泳げるところまで到達する。そして自分が目指す学習、文化、他のスポーツに転ずればよい。サッカー、野球など他のスポーツに転ずる時も水泳は全身運動に加え、呼吸器、循環器、持久力、瞬発力のトレーニングをなしている。

#### ～水泳を続ける子どもたちに育成・選手コースへ～

各種大会の記録は今日きわめて高いレベルにある。自分が水泳に適しているか、将来性は、そして一定のレベルに達した時、区切り(小学校、中学校、高校、大学卒業時)を判断すればよい。人生の進むべき道はすべて異なる。両親、コーチ、学校の先生と相談することが良策である。

#### ～健康維持・増進のためのマスターズ水泳～

泳げない人は水中ウォーキングから。都市部に限らず公営のプールを活用しよう。民間スポーツクラブ・スイミングクラブの活用。

・利用の方法によって決して高価ではない。

#### ～水泳をはじめましょう～

水泳は人間のすべての筋肉を動かすスポーツである。筋力の強化・維持(持久力・瞬発力・伸展)・呼吸器・循環器によりよい効果が期待できる。

「水泳を始めましょう。水泳をすすめましょう」

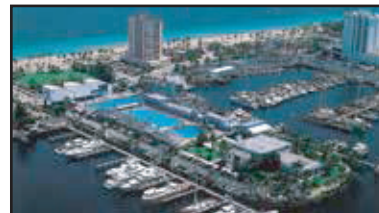
## 公益財団法人 国際水泳殿堂・アジアとは

旧 財団法人 愛知国際水泳殿堂は平成 4 年 8 月愛知県教育委員会認可、平成 26 年 4 月 1 日内閣府公益等認定委員会からの移行認定を受け、「公益財団法人国際水泳殿堂・アジア」として活動を開始することになりました。

公益財団法人として公益事業を着実に実施し、日本水泳界の発展の一助となるべく努力を重ねています。

### 国際水泳殿堂とは

FINA (国際水泳連盟) の承認。1963 年アメリカ フロリダ州フォートローダーデール市に設立された。水泳に関する資料、オリンピックメダル、彫刻、絵画、トロフィー、ブロンズをはじめ、水泳に関する多くの資料を保存・展示している。文字通り世界一の水泳博物館。国際水泳殿堂は、50m×2、飛込みプール施設を持ち、シーズンを通して大会、合宿、イベント等を開催し、多くの水泳関係者に利用されている。



### 国際水泳殿堂 日本人入堂者

「日本人入堂者 29 名 / 入堂者総数 712 名」

|          |                  |          |           |          |           |                |
|----------|------------------|----------|-----------|----------|-----------|----------------|
| ●北村 久寿雄  | ●古橋 広之進          | ●鶴 田 義 之 | ●清 川 正 二  | ●前 畑 秀 子 | ●宮 崎 康 二  | ●古 川 勝         |
| 山 中 毅    | 田 口 信 教          | 青 木 まゆみ  | ●葉 室 鉄 夫  | ●高 石 勝 男 | ●牧 野 正 蔵  | 田 中 聡 子        |
| ●遊 佐 正 憲 | 橋 爪 四 郎          | ●長 沢 二 郎 | ●寺 田 登    | ●小 池 礼 三 | ●村 上 勝 芳  | ●新 井 茂 雄       |
| 加 藤 浩 時  | 大 崎 喜 子          | ●大 崎 剛 彦 | 小 谷 実 可 子 | ●松 沢 一 鶴 | 中 村 敬 次 郎 | 立 花 美 哉        |
| 金 子 正 子  | 「入堂ノミネート中」入堂推薦申請 |          | 石 井 宏     | 鈴木 大地    | 岩 崎 恭 子   | 馬 淵 よ し 子      |
|          |                  |          |           |          |           | 岩 本 光 司 (●印故人) |

### 1997 年入堂式典とは・国際水泳殿堂

アジアで初めて国際水泳殿堂入堂式典を開催。「1997 年 6 月 13 日、14 日」新設の国際水泳殿堂（名古屋市スポーツ振興会館）をはじめ、隣接のレインボープール、名古屋キャッスルホテルにおいて世紀の国際水泳殿堂入堂式典が、40 年の歴史の中で初めてフォートローダーデール市を離れ日本で開催された。

(参加者 5,000 名、ISHOF から理事・評議員 60 名)



## ～2017 年度主要競技会日程～

公益財団法人 日本水泳連盟

|         |                                                         |               |             |
|---------|---------------------------------------------------------|---------------|-------------|
| 第 93 回  | 日本選手権水泳競技大会                                             | 4 月 13 日～16 日 | 名古屋・ガイシ     |
| 2017 年度 | ジャパンオープン                                                | 5 月 19 日～21 日 | 東京・辰巳       |
| 第 34 回  | ジャパンマスターズ                                               | 7 月 14 日～17 日 | 大阪・門真       |
| 2017 年度 | 世界水泳選手権大会                                               | 7 月 14 日～30 日 | ハンガリー・ブタペスト |
|         | シンクロ・飛込 14～22 日、OWS 15 日～21 日、水球 16 日～29 日、競泳 23 日～30 日 |               |             |
| 第 57 回  | 全国中学校体育大会・インターミドル                                       | 8 月 17 日～19 日 | 鹿児島・鹿児島     |
| 第 85 回  | 全国高等学校学校体育大会・インターハイ                                     | 8 月 17 日～20 日 | 宮城・利府       |
| 第 40 回  | 全国 JOC オリンピックカップ夏季水泳競技大会                                | 8 月 22 日～26 日 | 東京・辰巳       |
| 第 93 回  | 日本学生選手権水泳競技大会・インターカレッジ                                  | 9 月 1 日～3 日   | 大阪・門真       |
| 第 72 回  | 国民体育大会                                                  | 9 月 15 日～17 日 | 愛媛・松山       |

### ～編集委員会～ 委員長：磯部 正 副委員長：川村 俊五

公益財団法人設立以来、9 号の発刊となりました。さらに充実した会報作りに邁進してまいります。皆様のご投稿をお待ちしております。



— ご芳情に心から感謝申し上げます —

：前号より続く ◆寄附・賛助会員

|                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上里修司<br>(税)おおぞね会計<br>舎人きぬ<br>(株)コバ<br>戸崎英司<br>黄木隆司<br>内山宏次<br>額智久子<br>顯田靖子<br>舎松マル<br>(株)マル<br>徳田安江<br>高木彩果<br>中津川佳子<br>吉本晋一<br>吉本佳代子<br>尾崎昭市<br>武高橋龍論<br>近川藤彦<br>川村成宏<br>加藤南明<br>高山浩明<br>内田海子<br>川口宣郎<br>大久保孝司<br>山本まゆ | 牛田順<br>(株)スウイ<br>舎人經昭<br>宮島年夫<br>富田敏裕<br>松田利枝<br>(有)三信工<br>平尾宗宏<br>小高野よし<br>池木哲也<br>小久保孝樹<br>大石晶夫<br>(株)ケニー<br>近藤清彦<br>戸山聖佳<br>山本善行<br>谷谷貴宏<br>高村久子<br>中山勇夫<br>清高山理<br>高小林義<br>小伊藤隆<br>池田野兼 | 内田島海子<br>(株)イー<br>舎人久満<br>永井恒男<br>榎本弘幸<br>藤城直子<br>明石勝弘<br>高水か子<br>天満幼稚園<br>(株)ライ<br>前野秀樹<br>中山増雄<br>松本博明<br>役員一<br>匿福真<br>豊本重<br>山築敏<br>小野勝<br>高橋親<br>田口勝<br>小林和<br>土屋貢<br>牛田昇<br>富村俊<br>川田幸<br>池石友<br>大石美 | 安倍利美<br>(株)カワ<br>高木よし<br>永井はじめ<br>石田真英<br>杉峯宏<br>吉藤恒<br>近中(宗)養<br>(宗)長田<br>竹畑田<br>田高丸<br>金本教<br>中立富<br>大政年<br>中堀川<br>岩小川<br>(株)小林<br>上村コ<br>中舍勝<br>(有)辰 | 小林孝義<br>(株)サン<br>山本まゆ<br>加藤賀章<br>谷内和弥<br>稲垣美郷<br>森田真志<br>小久保孝樹<br>田畑日登<br>高木慎司<br>水谷大樹<br>新栗トシ<br>小田中<br>大須賀<br>野崎実<br>(株)二村<br>杉原敦<br>大岩俊<br>(株)スウ<br>藤井内<br>竹舎人<br>勝勝田<br>愛春起 | 富樫昇平<br>(株)名古屋<br>(株)ワーク<br>速水利行<br>大矢十一<br>磯部正人<br>吉川達俊<br>川村人<br>舎勝田<br>中村豊<br>服部加<br>高木愛<br>飼沼新<br>吉本健一<br>近藤幸子<br>田中加<br>大竹真理<br>武望藤<br>恩月康<br>富村嶺<br>大武村<br>古川博<br>竹内雅<br>棚橋邦<br>菅原英 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

(敬称略 続きは次号にて)

2017 年度 寄附・賛助会員のお振込みについてのお願い

財団運営にご理解をいただき、2017 年度会費につきましては 7 月末までにご入金いただけますと幸いです。

寄附会員・賛助会員募集 法人・個人

本財団の趣旨にご理解、ご協力いただけます方のご紹介をお願いします。

○入会方法

- ① 下記の申込書に必要事項をご記入の上、財団本部・事務取扱まで郵送、又はFAXにてお申込み下さい。
- ② 寄附会員：法人一口 100,000 円・個人一口 10,000 円      賛助会員：法人・個人一口 10,000 円
- ③ 振込先    三菱東京UFJ銀行 名古屋営業部 普通 2316137    口座名：公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア

公益財団法人 国際水泳殿堂・アジア 会員受付宛

会員申込受付専用FAX：052-779-0010

国際水泳殿堂・アジア

代表理事 舎人 経昭 様

寄附・賛助会員入会申込書

財団の趣旨に賛同し、寄附会員・賛助会員 として入会します (○を付けてください)

|             |                             |   |                             |   |
|-------------|-----------------------------|---|-----------------------------|---|
| 寄附・<br>賛助会員 | ○ 法人でお申し込みの方      金額      円 |   | ○ 個人でお申し込みの方      金額      円 |   |
|             | フリガナ<br>法人名                 |   | フリガナ<br>個人名                 |   |
|             | フリガナ<br>代表者名                |   | フリガナ<br>ご連絡先                |   |
|             | ご住所                         | 〒 | ご住所                         | 〒 |
|             | 電話番号                        |   | 電話番号                        |   |

寄附金会員につきましては税の優遇措置、寄附金控除（所得控除）、寄附金特別控除（税額控除）があります。  
内閣府からの税額控除の証明が必要の方はお申出下さい。